

第1回土岐市及び瑞浪市医療提供体制審議会

1. 日 時 令和2年11月9日（月）13時30分～14時50分
2. 場 所 セラトピア土岐2階 小ホール
3. 出席者 審議会委員（一覧のとおり）、土岐市、瑞浪市、適地調査受託業者(株オオバ)

■次第

開会

- 1 委員の委嘱
- 2 市長あいさつ
- 3 審議会について
- 4 審議会会長及び副会長の選出
- 5 諮問（資料1）
- 6 議事（資料2）一病院化による新病院の建設候補地
- 7 その他

閉会

■4 審議会会長及び副会長の選出

委員の互選により、会長は林上委員、副会長は山口浩一委員が選任されました。

■6 議事（資料2）一病院化による新病院の建設候補地

【事務局：「資料2」に基づき説明】

○（I委員）

- ・選定にあたって専門業者により検討されたと説明がありましたが、業者は地質や環境、地域周辺も含め、どのような関係の業者で、どのような調査をされたかをお聞かせください。

●（事務局）

- ・建設系コンサルタントの株式会社オオバという業者です。
- ・本検討では、全体負荷が必ずしも大きくない場所を候補地として選定しています。この場所は、かつて陶磁器原料となる珪砂を採取していた跡地で、山林ですが、既に裸地になっていることから環境負荷も少ない。また、土の搬入・搬出が少なく、建設に必要な造成費用も少ないことや、用地が土岐市の市有地であることなどを総合的に判断して、この土地が最適であると整理し、「病院事業一部事務組合設立準備会」において報告して絞り込みを行いました。

○（C委員）

- ・今回、東濃中部の医療体制の確保ということで病院の方向性と、両市の中間地点ということが示されたことから、今後、建設に伴い大きな経済負担が生じるので経費負担が少ない箇所を選定し、スピード感をもって進めていくことが求められる中で市議会の意見も踏ま

えて、今回の候補地が提示されてきたと承知しています。

- ・委員の皆さんに知っていただくことを含め、今後、現地視察なども提案させていただきたいと思います。

○（J委員）

- ・検討会ではA～Dの4つの候補地が検討されたと思いますが、この場所は4地点のいずれにも該当しないと理解しますが、この候補地になった理由、また以前の候補地が不適になった理由や経緯などを含めてお聞かせください。

●（事務局）

- ・検討会では複数の地点からD地点が望ましいと整理してきました。D地点はほとんどが民有地で、河川沿いの水害等災害リスクなどもあることなどから、その土地を再検討して、この場所よりも少しでも適する場所がないかということで適地選定業務を委託しております。
- ・今回、D地点と本日提示の候補地とを比較検討し、設立準備会にて今回の候補地が適するとういう意思統一が図られたことで審議会へお示ししたところです。

○（J委員）

- ・資料の赤い点線で示されている道路ですが、現在、道路が無い所に整備することになりますが、道路の管理者というか、誰の資産になるかをお聞かせください。

●（事務局）

- ・瑞浪市との協議も含めて最終的な結論を出していきたいと考えています。

○（I委員）

- ・傍聴に来られている皆さん、市民もこの場所については、この審議会で公表されたという理解をされるところで、本来、多くの市民が利用することを考えると進め方としてパブリックコメントなど市民への説明も重要で、今後はどのように進めていくかをお聞かせください。

●（事務局）

- ・パブリックコメントの手続きに関しては、2通りのアプローチを想定しています。一つは、この審議会で結論・方向付けをいただき、審議会としてパブリックコメントと同様の手続きをしていくこと、もう一つは、審議会から答申をいただいた後、パブリックコメント、市民説明会などを各市で協働して手続きを行っていく方法などが考えられます。

○（I委員）

- ・市民の皆さんから意見や批判などがあることは当然想定されることですが、今の説明では、

審議会の結果を受けてからの説明でしたが、市民の理解が大切で、早期に現状までの説明会などを市民向けに行っていただくのが本意ではないかと思いますがいかがでしょうか。

◎（H会長）

- ・審議会の結論を経てパブリックコメントを実施するか、途中でも実施するかのご意見でしたが、今後、検討をお願いします。
- ・本日は、初回ですので、まずは自由なご意見をお一人ずつにいただきたいと思います。

○（K委員）

- ・資料には候補地の主な課題が2点挙げられていますが、この程度ですか。コンサルタントの方にどのように依頼を受け、どのように決まったかなどについて、お聞かせ願いたい。また、どのような経緯でコンサルタントを決められたかもお聞かせください。

●（事務局）

- ・細かな課題は今後、詳細に検討していく過程で出てくる可能性はあります。他の候補地でも同様に課題はいくつか出てきますが、この候補地に特化して記載したところです。進入路の建設費用はかかりますが、この候補地であれば山林箇所は市有地で建設費に対する負荷も軽減できます。

●（事務局）

- ・業者は、土岐市の指名競争入札により選定しています。

●（適地調査受託業者）

- ・弊社は、名古屋に支店、岐阜にも営業所を構えており、総合建設コンサルタントとして環境調査、都市計画、開発計画設計など全般にわたってお引き受けする会社です。
- ・今回は、ご指名をいただき応札させていただいた次第で、業務の内容は、先ほどご意見にありましたD地点の検証と、さらに優位な場所を抽出し、その候補地での計画検討を行うといった内容になります。
- ・資料の候補地は、本日までの調査・検討を踏まえ、D地点に比べて優位な場所であると助言させていただいたものです。
- ・現状、主な課題を数点列記させていただきましたが、この他にも交通や自然環境など様々な問題もあることと思いますので、今後、調査検討を掘り下げていくことになります。本日の時点では、地形的、法規制などを注視して整備の可能性を検討させていただき、この場所をご助言させていただいたものです。

○（K委員）

- ・ありがとうございました。

○（L委員）

- ・病院となれば我々にとってはアクセスが非常に問題になりますが、メインの進入路の市有地が占める概ねの割合はどの程度でしょうか。

●（事務局）

- ・資料図面の点線で示している箇所は北側一部は民有地ですが、その他は土岐市の市有地です。また、実線で示している箇所は既存の市道で、拡幅等の整備内容は今後の検討になります。

○（M委員）

- ・経済界として新病院の建設に関しては基本的に賛成です。本日の会議は、建設場所についての諮問を受けたと理解しましたが、経済界としては、その先のことに関しては色々意見を申し上げることがあると思います。例えば、どれぐらいの費用を投じて、どう実施していくのかということが非常に大事であると思っています。本日は、そこまで突っ込んだ話ではなく、建設候補地について意見を述べるということだと思いますので、それに関しては特に意見はありません。
- ・しかし、土岐市と瑞浪市とで若干、考え方に差があるような気がします。出かけに知人と会議開催について話をしたところ、そこまで進んできているのですかと驚かれる方もいました。瑞浪市の場合は、もう少し、皆さんに周知していく必要があると感じています。
- ・東濃地域は一つの地域であるということで、土岐商工会議所とも色々な連絡会を行っています。このような連携を通して順次、時間をかけて極力、費用等を節減しながら進めていくことが必要と考えます。

○（N委員）

- ・この話を詳しく聞かせていただき、どちらかという土岐市主導の印象を受けました。先のことを考えて、両市でしっかりと話し合っただけだと有難いです。

○（H委員）

- ・子育て代表という立場では、病院がこの辺に整備されるということであれば、皆さんが利用しやすい距離感にあると思います。
- ・また、新しい道路を整備することでアクセスもさらに容易になりますので良いと思います。

○（G委員）

- ・選定についての意見ですが、前もって勉強してきましたが、土岐市と瑞浪市の間地点と聞いておりますが、具体的な場所は本日初めて聞かせていただきました。資料を見ると、少し土岐市寄りかというイメージを持たれたかと思います。

- ・新型コロナ禍で非常に厳しい医療環境にある中、また全国的にも病院経営が厳しい状況である中、本当に400床もの病院ができるのかは少し心配しています。
- ・病気になった際に感じることは、良い医師に診てもらいたいと思うことで、良い医師に来てもらうためには、良い病院を整備しなければならない。この厳しい状況下で進めるのであれば、できる限りコストがかからないようにしていくことは良いかと考えます。
- ・今後、運営に関しては意見を出していきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

○（F委員）

- ・市民として、また高齢者の立場としては、医療問題には非常に関心をもっています。ここ2～3年の間、幅広く医療体制について検討がされてきたと理解をしています。
- ・本日の審議会では候補地を委員だけで選考して答申すれば良いということになりますが、これで良いのかは疑問です。土岐市と瑞浪市の地域医療の供給体制の安定化からすれば、広い意味で、今後の医療のあり方についても議論の対象になるのかとも考えましたが、建設候補地についてということでしたので、それについては結構です。
- ・候補地の選考に対しては、一気に意見を求めるところまで進んでおり、また、情報が共有化されずに大きな差があることなどを感じました。
- ・数点の候補地があったが一長一短があり、今回の候補地を選定されていることに関しては土岐市民としても異議はありませんが、総合病院ともなれば、建設場所についてしか発言できないのかという点は議長いかがでしょうか。

◎（会長）

- ・これまで積み上げてきた結果として、審議会ではこの建設候補地に関して発言いただくこととしています。

○（F委員）

- ・新型コロナ禍の中で病院の再編統合が進んでいますが、ベッド数の確保の動きがあり、マスコミ報道などで瑞浪の東濃厚生病院も国から公表された病院と承知しておりますが、資料によれば、岐阜県の地域医療構想を踏まえた方向性の議論が始まっていますので、この病院についての再編統合について確認されたらと理解してよろしいでしょうか。

●事務局

- ・土岐市、瑞浪市で意見統一を図りながら進めているところですが、今後、両市の議会において「一部事務組合」を設立して進めていく必要があります。
- ・岐阜県の地域医療構想については、現時点で構想を見直していくような議論はされていませんが、今後構想の中での新病院の位置付けがどうなされるかは不明です。

○（F委員）

- ・土岐市立総合病院の経営状況等を考えると、いつかは統合化が必要であると考えていま

す。その際には、高齢者をはじめ利用者の皆さんの交通手段も含めて検討・まとめをしていただければと思います。

○（E委員）

- ・話を聞いていますと、候補地は土岐市主導によるとの発言がありましたが、この候補地案は土岐市、瑞浪市、JA岐阜厚生連による検討会で十分な検討をされたうえでのものと理解しています。瑞浪市の職員の方々、そうですね。

●（瑞浪市職員）

- ・そうです。

○（E委員）

- ・この土地は、土岐市内で市としてもイオンモールの接続道路、駅前整備、市庁舎建設など大変多くの予算を投じていく状況下で、さらに新病院の建設となれば、かなりの財政負担となります。
- ・自治体として費用負担を考慮していくことは当然のことで、民地を買収するのではなく市有地を活用していくことが最も大きな理由ではないかと察します。費用負担の精査や、慎重な検討をされて審議会に提示いただいたものであると思いますので尊重したいと思います。

○（D委員）

- ・私もかかりつけ医がおり、診断して総合病院、厚生病院などの専門医を紹介していただきながら診療を受けているのが現状です。
- ・候補地は4地点ありましたが、今回の候補地は、市有地を活用してできる限り費用負担を少なくするなどの検討もされた場所であり、こちらの意見に賛成です。

○（C委員）

- ・情報提供や説明などが大変重要であると感じました。ご意見を聞いていると土岐市、瑞浪市で温度差があり、仮に候補地が瑞浪市内にあれば同じような温度差が生じると思います。これからは、両市ともにしっかりと情報共有しながら進めていくことが望まれます。

○（副会長）

- ・医療体制については、土岐医師会が一つで予防接種を含め診療に努めています。
- ・大病院では派遣医師が減少してきていたり、偏在していたりしているのが現状です。
- ・東濃地域でみると、多治見や中津川に大きい拠点病院があれば十分ではないかという意見もありますが、東濃中部に新病院を設置することは大変意義があることで是非整備していただきたいと考えます。

- ・今回、候補地に関して意見を言わせてもらえれば、アクセス道路が1本ですので、寸断された場合に病院機能が果たせるよう、また利用者の利便性も含め、東側の肥田の方からのアクセスなども検討していただければと思います。

【まとめ】

◎（林会長）

- ・本日は初回ということで、全員にご意見をいただきました。
- ・次回以降、本日の意見を踏まえながら検討を進めていきますが、特に広報についてどう取り組むかは、事務局で是非検討していただきます。
- ・本日の意見を持ち帰っていただき、次回以降に反映させていただき、会を進めていきたいと思います。

●事務局

- ・皆さま、長時間にわたってご意見をいただき、ありがとうございました。次回の審議会は、建設候補地について、さらなる委員の皆さまからのご意見をいただければと考えています。

■7 その他（今後のスケジュールについて）

●事務局

- ・今後のスケジュールについて、簡単にご説明させていただきます。
- ・次回以降の開催日程は、お手元にお配りしています日程調整表の中から調整していきたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。